

こっこめ通信 01 2025

「2025年はどんな年に？」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

明けましておめでとうございます。2025 年も八丈ビジターセンター・八丈植物公園をよろしくお願いいたします。12月初めからサーバーのトラブルによりビジターセンターのホームページが表示されなくなっています。以後は、<https://www.tokyo-park.or.jp/park/hachijo/> で情報発信いたします。(右 QR コード) さて、今回は「年末年始を彩るキダチアロエ」と「師走のクラフト行事」についてのお話です。



年末年始を彩るキダチアロエ

秋の花が終盤にさしかかると咲き出す「キダチアロエ」は花の少ない冬の八丈を彩ってくれる植物です。空港周辺や永郷地区のアロエ園、植物公園内にもたくさん植栽され、色鮮やかなオレンジ色の花が冬の青空に映えます。

キダチアロエは南アフリカ原産の植物で、江戸時代に日本に持ち込まれたと言われています。「蘆薈（ろかい）」とも呼ばれ、薬草図鑑に効能の記載もありました。

以前八丈島では、アロエの咲く時期に「ヘルシーフェスタ」なども開催していました。今回はそんなキダチアロエの花をじっくりと観察してみました。(H.T.)



花芽の始まり



咲き始めのキダチアロエ



アロエ園から大越灯台を望む



花被片

雄しべ

雌しべ



①

②

③



結実したキダチアロエ

花茎は葉の間から出てきます。数えてみましたが、特に決まった場所から出てくる訳ではないようです。花被片は6枚で、外側の3枚は鮮やかなオレンジ色で、内側の3枚は中央にオレンジ色のラインが入っていました。

穂状花序の下側から順に、花が咲きだします。蕾の状態では花先が上方を向いていましたが①、雄しべが熟した状態では下方を向き②、最後に雌しべが熟し始めるとまた上を向き始めます③。雄しべの後に雌しべが熟す雄性成熟です。

メジロなどが蜜を吸いに来る年は結実します。人の手で受粉させてみましたが、結実率は高かったですね。

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科(旧ツグミ科)の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

師走のクラフト行事

小さなツリーを作ろう

マツボックリをツリーに見立てて様々な植物の実をボンドで貼り付けてツリーを作るという、この時期恒例のクラフト行事です。この日は最高気温18度の暖かな日で、クリスマスシーズンの「寒さ」のイメージとは少し違いました。常春の八丈島でもクリスマスに合わせて島内各地で催しがあり、この日も複数の行事が重なりましたが、ビジターセンターの本イベント「小さなツリーを作ろう」へは33名の方の参加がありました。

参加されたのはほとんどが未就学児とその親御さんで、スタッフが用意した形状の個性（かさの開き幅の違い等）が豊かなマツボックリの中から、子供たちが好きなものを選んで、それに親子が共同作業でハマボッスやオオムラサキシキブの実を張り付けながら作品を完成させていくという流れが中心でした。途中、松かさの間に残っている羽がついた種を発見した女の子が、「この種が風に乗って遠くへ散らばるんだよ」と周りの大人にレクチャーしていたシーンがとても印象的で、島に住む子供の自然リテラシーの高さを実感しました。

冬の寒さにめげない、クリスマスツリーや新年の祝賀のイメージを持つ「松」……その木から成るマツボックリを使ったクラフト……これから八丈島の冬も寒くなりますが、完成した「おめでたい」象徴のツリーがそれぞれの家に帰って、参加された方をはじめ、それを見た人の心が温かくなってくれたら嬉しいです。(R.T.)



リースを作ろう

毎年大人気の「リースを作ろう」は、今年も早々と定員になりました。10組12名の参加があり、そのうち3名が小学生でした。去年と同じく開催時間内に完成させることを目標に掲げ、制作に取り組んでもらいました。

ビジターセンターのリースはヒサカキ・アロウカリア・カイヅカイブキの3種の葉を小さく束ね、30〜40束のミニブーケを作り、サルトリイバラの蔓を巻いた土台にワイヤーで巻き付ける、グリーンリースが基本です。開催時間内に終わらせるためにはこの作業が肝なので、皆さん真剣にこの作業に向き合っていました。ワイヤーで巻き付ける作業が力の弱い小学生には難しいようでしたが、保護者やスタッフの手を借りつつなんとか形になったと思います。

グリーンリースが出来たらそこにリボンを選んで付け、装飾する素材をグルーガンでバランスを見ながら留めていきます。華やかでいちばん楽しい作業を黙々とこなし、それぞれのこだわりの一品を完成させました。

「家事育児を離れ、ひとり没頭できる時間を持てて楽しかった。」という感想を頂いたり、小学生の皆さんが難しいリース作りに挑戦してくれた上、納得のいく作品を作れた時の満足な表情を見ることができ、わたしたちもとてもうれしいです。また来年もリース作りを楽しみましょう！(A.G.)



八丈植物公園季節調査会の報告

今月の季節調査会は参加申し込みが無かったため、スタッフだけで調査を行い、シダ植物15種類を含む68種類の植物を観察しました。スタッフだけの調査になると見逃す植物も多く、同じコースを二度回って記録しています。オオシマザクラにキバラケンモンの終齢幼虫、ストレチアにクワゴマダラヒトリの若齢幼虫を確認し、テイカカズラやサカキカズラの綿毛の付いた種子が落ち始めていました。

八丈植物公園季節調査 2024 年 12 月 8 日（日）、天気：雨、気温：10.3℃ 調査者： VC：高須・玉置

1	ヤブニッケイ	黒くなった実						
2	タコノキ	気根の長さ 63.5cm、太さ 11.5cm、実						
3	オオタニワタリ	最長丈 121cm、幅 16cm、胞子あり						
4	ニオイウツギ	落葉、種はじける						
5	ニオイバンマツリ	花3、蕾2						
6	オオシマザクラ	新芽、キバラケンモンの幼虫						
7	アオノクマタケラン	赤い実	29	センダン	実落ちる	51	モンステラ	花終わり・実熟す
8	アシタバ	新芽	30	ソテツ	実	52	ヤツデ	花
9	イヌビワ	実・紅葉	31	タネツケバナ	花	53	ヤブツバキ	花
10	イヌマキ	実	32	ツルグミ	蕾			
11	イワニガナ	花	33	ツルソバ	花・実	シダ植物		
12	ウスベニニガナ	花	34	ツワブキ	花	1	イシカグマ	
13	エダウチチヂミザサ	実	35	テイカカズラ	種落ちる	2	オオタニワタリ	胞子嚢
14	オオバコ	実	36	トベラ	実はじける	3	オニヤブソテツ	
15	オオバヤシャブシ	落葉	37	ナガエコミカンソウ	実	4	カニクサ	胞子葉
16	オオムラサキシキブ	実	38	ノジスミレ	閉鎖花	5	タチクラマゴケ	紅葉
17	オドントネマ・ストリクツム	花	39	ノシラン	実	6	タマシダ	胞子嚢
18	オニタビラコ	開いていない花	40	ハイビスカス	花	7	ナチシケシダ	胞子嚢
19	カタバミ	花・種	41	ハゼノキ	紅葉	8	ノキシノブ	胞子嚢
20	キンチョウ（錦蝶）		42	ハチジョウキブシ	蕾ふくらむ	9	ハチジョウカナワラビ	胞子葉
21	クラリンドウ	花終わり・実	43	ハルジオン	花	10	ハチジョウシダ	
22	サカキカズラ	種落ちる	44	ヒサカキ	蕾	11	ヒトツバ	胞子嚢
23	サントウカ	花	45	ヒメユズリハ	実	12	ホシダ	胞子嚢
24	シコンノボタン	花終わり	46	ビルベルギア・アモエナ	花	13	ホラシノブ	
25	シマクサギ	実	47	ブーゲンビレア	花	14	マツバラン	
26	ススキ sp	穂	48	フウトウカズラ	若い実	15	マメヅタ	
27	スダジイ	実	49	ホルトノキ	実			
28	ストレリチア	花終盤	50	メタセコイア	紅葉			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、調査会でオオシマザクラの葉にいた「キバラケンモン」にスポットを当ててみたいと思います。



キバラケンモン *Trichosea champa*

ケンモンガ科 *Trichosea* 属。日本では北海道から屋久島にかけて分布しています。幼虫で越冬し、八丈島では春～秋に成虫が見られます。翅を広げると 50mm 近くになり、白と黒の斑模様の翅を広げると腹部は鮮やかな黄色です。公園内では、オオシマザクラやヒラドツツジなどで幼虫が見られます。

2025
01

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります			1 ガイドウォーク 年始特別行事 「体験八丈太鼓」 06:53 17:11 11:56	2 ガイドウォーク 年始特別行事 「体験八丈太鼓」 07:25 17:54 00:16 12:32	3 ガイドウォーク 年始特別行事 「体験八丈太鼓」 07:59 18:38 00:54 13:12	4 ガイドウォーク 08:31 19:28 01:32 13:57
小寒 5 ガイドウォーク 09:04 20:26 02:10 14:50	6 09:36 21:40 02:50 15:54	7 10:10 23:28 03:32 17:10	8 01:36 10:50 04:22 18:30	9 01:56 11:45 05:40 19:43	10 03:48 12:58 07:40 20:46	11 ガイドウォーク 04:45 14:09 09:18 21:39
12 ガイドウォーク 植物公園季節調査会 05:26 15:09 10:18 22:25	13 ガイドウォーク 06:00 16:00 10:59 23:07	14 06:31 16:45 11:34 23:44	15 06:58 17:26 12:06	16 07:22 18:05 00:18 12:38	17 07:43 18:43 00:49 13:09	18 ガイドウォーク 08:02 19:21 01:18 13:42
19 ガイドウォーク 08:21 20:03 01:46 14:19	大寒 20 08:42 20:52 02:13 15:03	21 09:06 22:02 02:40 15:59	22 09:33 17:13 03:08	23 00:12 10:08 03:38 18:39	24 11:08 19:54	25 ガイドウォーク 八文学講座 「冬鳥を見よう」 04:17 12:47 08:05 20:51
26 ガイドウォーク 04:45 14:05 09:30 21:37	27 05:12 15:00 10:11 22:17	28 05:38 15:47 10:44 22:54	29 06:05 16:32 11:16 23:30	30 06:32 17:17 11:49	31 07:00 18:02 00:06 12:24	

イベントプログラム

年始特別行事

「体験八丈太鼓」

八丈島の伝統芸能の一つ、八丈太鼓を体験しましょう。寒い中、思い切り太鼓を叩いて汗をかこう！
1/1～1/3 (13:30 から随時) だれでも参加できます。
ビジターセンター正面入口 無料 定員：なし

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化と一緒に感じましょう！
1/12(日) (13:30～15:00) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

八文学講座

「冬鳥を見よう」

毎月行っている八文学講座。島に渡ってきている猛禽類やウミウの仲間などを探しましょう！
1/25(土) (13:30～ 約1時間半)
中学生以上 洞輪沢漁港集合・解散 参加費：50円 定員：10名

植物公園ガイドウォーク

解説員が植物公園内をご案内します。
毎週 土日祝日及び休日、(10:30～ 約1時間) だれでも参加できます。
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2025.01.01 第284号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入場無料)

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

<https://www.tokyo-park.or.jp/park/hachijo/>

編集後記

八丈ビジターセンターのホームページ不具合により、過去の自然情報が見られない状態になり、ご迷惑をおかけしております。こっごめ通信は上記サイトで2021年までの号がご覧いただけます。今後はすべての号が見られるように復旧予定です。(H.T.)